

# 公明党

小松幸子

## ●安心安全なまちづくり

**問** 地域防災体制、減災体制と土砂災害防止法の改正を受け、法律に基づく土砂災害警戒区域の指定と住民への周知は。

**答** 平成26年4月に内閣府から示された避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン案では、従来の避難所への避難だけでなく、家屋にとどまり安全を確保することも避難行動の一つと明記され、避難勧告を空振りを恐れず早めに出すこと、避難が夜間、早朝の場合でもちゅうちよせずに発令すること、さらに、避難準備情報を発令することが求められた。このガイドライン案に基づき、本市の避難勧告等判断基準伝達マニュアルを平成26年9月に定めた。また、土砂災害に関する情報をホームページと広報紙に掲載し、土砂災害の警戒区域等にお住まいの188世帯には戸別訪問によるポスティングを行い、避難情報の伝達や避難場所について



適応指導教室「きぼうの園」

各区域ごとに周知を図っている。●若者の自殺対策

**問** 平成24年に改定された自殺総合対策大綱において若者世代への支援が重要とある。生活上の困難、ストレスに直面したときの対処法を各学校で毎年実施するとともに教員向けの研修、講習の充実強化を図るべきでは。

**答** 25年度と26年度は、国の地域自殺対策緊急強化基金事業費補助金を活用して、小学校3校の6年生と適応指導教室「きぼうの園」の中学生を対象に、千葉大学子どもこころの発達研究センターにより困難をはね返す力を育むフレンズプログラムを実施している。また、自殺予防に関する教職員向けの研修は、自殺予防ゲートキーパー養成研修を実施している。自殺予防という観点だけでなく、児童虐待の防止、いじめ防止の観点からも、教職員の力量を高められるような研修を継続していきたい。

**問** 多量飲酒からくる健康障害をなくす対策と、患者の家族へのケアはどのようにしているか。

**答** 適度な飲酒の知識を普及させるため職員による出前講座の実施や、町会回覧等による保健所だよりの配布、ホームページへの掲載、地域健康だよりの発行などで、市民への啓発を行っている。家族へのケアについては、保健所では精神保健福祉士や保健師、精神科医師が相談者の状況に応じ、電話、面接訪問などを通じて対応をしている。また、アルコール悩み事相談、アルコール家族教室を月1回行っている。アルコール依

存症の方を対象に、飲まない生活の維持のための学習会や、ミーティングなどを取り入れたアルコールデイケアを月3回実施している。

林 伸司

## ●市長の政治姿勢について

**問** 公立学校の冷房空調施設調査によると、小中学校の普通教室にエアコンを設置している割合は32・8%である。既に、全国的には、3分の1の教室でエアコンが設置されている。電気が設置費用など課題はあるが、学校の耐震化がかなり進んでいるため、設置の計画を検討すべきではないか。

**答** 小中学校の教室へのエアコン設置は、子供たちの学習環境の整備に重要な要素である。今後国からの補助など財源的な要素を注視しながら検討していく。

## ●防災対応について

**問** 防災マップ(※1)について、パソコンなどだけでなく、どこでも手軽に得られるように、スマートフォンでも見やすいスマホ版防災マップを作成して公開すべきではないか。

**答** 常時防災マップを持ち歩くことはなく、スマホ版防災マップは、若者を初めとしたスマートフォン利用者には有効な方法である。最新技術の情報収集に努めて、導入に向け検討を進める。

## ●緊急時の災害情報について

**問** ツイッターを発信するときに、音や振動とともに内容を表示させるツイッターアラート機能を取り入れてはどうか。

**答** 先般、議員の御提案を受けて、ツイッター社に登録申し込みを行い、間もなく利用が開始される。今後は、防災安全課、



車両走行速度の減速を促すイメージハンプ

## ●再生可能エネルギー

**問** 風早南部小学校の跡地では、その土地を事業者に貸し出して、太陽光発電を行っている。学校など公共施設において、構造上などで、太陽光パネルの屋根貸しが難しいなら、土地貸しという手法を用いて、他の地域にも進めるべきではないか。

**答** 御指摘のように、屋根貸しにこだわらず、土地貸しというものがどのくらいあるのか今後検討していく。

## ●まちづくりについて

**問** 交差点での車両の減速を促すため、歩道の色や形を立体的に見せるイメージハンプ(※2)を導入すべきではないか。

**答** 市内では、平成26年11月に藤心小学校の通学路で初めて設置した。また、柏の葉住宅地区内でも減速規制と合わせて設置する。今後も柏警察署と協議して効果的な設置に努めていく。

## ●保健・医療・福祉について

**問** 介護保険制度について、一定期間利用しない高齢者に対して、その自助努力を評価する仕組みがでないか。

**答** 財政負担にも考慮しながら可能な支援を推進する。

# 無所属

内田博紀

## ●北部東地区の区画整理について

**問** 大室地区の区域除外に係る現状の報告を求めます。

**答** 平成26年9月25日に事業区域の変更が認可され、大室東地区の42ヘクタールが事業区域から除外された。生産緑地の追加指定については既に申し出期間が終了し、3名の地権者から26年度中に追加指定される予定である。

## ●柏市ホームページについて

**問** アクセシビリティソフト(※3)を内蔵した自動音声読み上げ機能を導入してほしいがどうか。

**答** 視覚障害者だけでなく、文字の見えづらい高齢者がふえてくる。公式ホームページのリニューアルの時期である平成28年3月を目途に先進事例を調査しながら、音声読み上げ機能の導入可能性について研究してまいりたいと考えている。

# 新世柏

市村 衛

## ●市立柏病院について

**問** 移転先の用地取得費がおよそ20億円ということだが、内部留保を当てにしているのか。

**答** 財源については、可能な限り自己資金を使用することを整備基本方針の中で示している。一定の内部留保資金を自己資金として考えている。

## ●財政状況は赤字だが、市長になつてから6年の間、赤字にする方法はなかったのか。

**答** 財政状況は赤字だが、これまで改善してこなかったことを大いに反省している。今後は小



市立柏病院

み上げ機能を導入してほしいかどうか。

**問** 地域猫推進員に対して、柏市登録活動である旨を表示した証書を交付してほしいがどうか。

**答** 地域猫活動については、市が活動目的等について作成したパンフレットを活用し、啓発や周知に努めるとともに、証書の交付等についても検討してまいりたいと思っている。

児の救急医療や感染症対策といった部門を取り扱うこととなり、運営上は赤字であることが推定されるが、他の診療科目の経営改善を図って補っていく。これから病院経営の構造を見直し、収益の拡大を図りたい。

**問** 中期構想や整備基本方針を策定するにあたって、コンサルタント業務委託を一者随意契約としているのはなぜか。

**答** 中期構想の策定については、指名型プロポーザル方式による

● Twitter ●  
● やっています。 ●

本会議や委員会開催などの情報を発信しています。  
下記のURLからアクセスしてください。  
URL [twitter.com/kashiwa\\_gikai](https://twitter.com/kashiwa_gikai)

**問** 本事業について、失敗は許されない。病院を移転することに関して、誰がどのように責任を負うのか。

**答** 市長が総責任者であると認識している。

※1 防災マップ=災害時の避難場所や給水所、行動マニュアル等の情報を掲載した地図。  
※2 イメージハンプ=道路で、舗装の色や材料を一部分だけ変え、凹凸があるように見せかけたもの。ドライバーに注意を促し、自動車の速度を落とさせるために設ける。  
※3 アクセシビリティ=情報やサービス、ソフトウェアなどが、どの程度広汎な人に利用可能であるかをあらわす語。特に、高齢者や障害者などハンディを持つ人にとって、どの程度利用しやすいかという意味で使われることが多い。